

2024年度

ニチキッズこばり南保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月15日（水）～2月17日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月26日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「思いっきりあそぶ、思いっきり学ぶ」の保育理念及び給食方針を念頭におき、子どもたちが「楽しかった」と思えるような保育活動や行事に取り組んだ。一人ひとりの興味・関心に寄り添い活動を工夫した。
子どもの発達援助	今の子どもの姿をしっかりと捉え、計画を作成・実践ができた。子どもの興味・関心をさらに広げることができるよう、子どもの声に耳を傾け子どもの思いを大切にし、より発達にあった保育を目指していきたい。
保護者に対する支援	送迎時に子どもの様子や成長を丁寧に伝えられるよう取り組んだ。試食会と参観は今年度も実践でき、保護者間の交流も持つことができよかった。個人懇談会では保護者と職員が情報共有できてよかった。
保育を支える組織的基盤	定期的な職員会議、園内研修を実施し、マニュアルの読み合わせや保育内容について情報共有を図り日々の保育に反映させることができた。マニュアルの熟知と理解の上でひとりひとりの子どもとより深く関われるよう、保育の質の向上を目指していきたい。

総評
保育士のチームワークで子どもたちの様子に合わせ、保育を柔軟に行うことができていた。また、マニュアルの読み合わせは年間を通して園内研修で行うことができ、職員間での業務の認識を再確認できた。次年度に向けては子どもの発達にあった援助と配慮ができるよう研修等で学び合い、子どもたちが安心して過ごせるような環境を整えていきたい。